

令和元年度 かながわティーチャーズカレッジ

カレッジ・ニュース



Vol. 11

令和2年1月20日 発行
神奈川県立総合教育センター
かながわティーチャーズカレッジ事務局
(教育人材育成課若手教員育成班)

第11回 かながわ教育学講座

令和2年1月19日(日)、総合教育センターで第11回かながわ教育学講座を開講しました。今回のテーマは、「教員という仕事の魅力と責任」です。

シンポジウム「教員という仕事の魅力と責任」

かながわティーチャーズカレッジを修了し、学校現場で活躍されている5名の先生方を招き、大講堂にてシンポジウムを行いました。野口 義嗣 教育指導員の進行のもと、「着任後、最も印象的なこと、特にカレッジ受講者に伝えておきたいこと」「教員という仕事の魅力と責任について思うこと」「かながわティーチャーズカレッジで学んで役立ったことや実践して効果的だったこと」「カレッジ受講者が今のうちにやっておくとよいこと」について話をさせていただきました。

教員の魅力は、子どもと一緒に成長できることです。子どもたちに教えることばかりではなく、子どもたちから教わるがたくさんあります。自分自身も、子どもたちとともに成長できます。

子どもたちは同じ内容の授業を二度と受けることはありません。だからこそ、一回の授業を大切にしていかなければなりません。一回一回の授業で、学びを深められるように授業準備をしています。



藤沢市立高谷小学校
奥津 悠仁 教諭

教員として「学び続けること」「我慢すること」「楽しむこと」ということが、とても大切だと思います。

教員は、子どもの成長を間近に見ることができ、人生に関わることができます。人生に関わるからこそ、言葉に責任を持って子どもたちと接しています。生徒が失敗したとしても、失敗をとがめるのではなく、同じことをしないためにはどうしたらいいか一緒に考えるようにしています。



秦野市立西中学校
吉田 翔一 教諭

ティーチャーズカレッジで、同じ志をもった仲間と出会うことができました。今でも、悩みを相談できる心強い存在です。

カレッジで学んで役に立ったことや実践して効果的だったことは、実践力向上講座です。校種を越えて、いろいろな学校に行くことができたのは、とてもよかったです。子どもたちの実態を知ること、実際の指導にいかすことができました。



県立麻溝台高等学校
寺山 歩佳 教諭

児童の前で初めて授業をしたことが印象に残っています。本当に教員になったのだと実感した瞬間でした。児童・生徒は、ハンドサインや視線など、自分なりの方法で教員に意思を伝えようとしています。児童・生徒をよく観察して何を伝えようとしているのか考えるようにしています。

教員採用試験はゴールではなく、スタートだと思います。研修や授業実践などから学び続け、自分の力を高めていくことが大切だと思います。



県立平塚養護学校
大原 舞子 教諭

かながわ教育学講座の人権教育に関する講座で、いじめのロールプレイをしたことが役に立っています。いじめに対して、教員は、毅然とした態度をとること、これはいじめの芽かもしれないと思うことで、被害者の気持ちを救うだけでなく、加害者側の抑止力になることが分かりました。生徒たちがしてはいけないことをした時に、思いを受け止めつつ、「やってはいけないのではないか」「相手はどのように捉えているのか」を伝えるようにしています。



県立藤沢工科高等学校
設楽 寿玲 養護教諭

講義「教員のコンプライアンス～教員へのはじめの一步～」

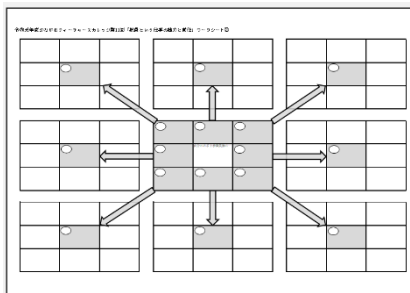
講師：神奈川県教育委員会 行政部行政課長 松西 孝子

シンポジウムの中でも、言動には責任を持たなければならないと話がありましたが、教員には、「教育活動を行う公務員」として、勤務時間の内外を問わず、常に教員として自覚を持ち、一般の公務員よりも一段と高い倫理観やモラルが求められます。

「教育を担うプロとして、高いコンプライアンス意識をもった教員になってほしい」と、講師より話がありました。受講者は、教員としての責任とその重さについて、しっかり受け止め、自覚を高めている様子でした。



グループ活動



マンダラート

後半のグループ活動では、シンポジウムの内容を踏まえ、教員という仕事の魅力と責任、身に付けるべき力について考えました。

まず、教職員人材確保・育成計画で示されている「めざすべき教職員像」について再度確認し、マンダラートを用いて自身のめざす教職員像を明確にし、「その達成に向けてすべきこと」、「しようと思うこと」を考えました。「マンダラートとは、紙に3×3の9つのマスを書き、その中心に考えたいことを書き込み、周りのマスにはそれに関連する事柄を埋めていきます。」これに

より、思考を整理し、深めていきます。受講者は、自己と対話しながら、これまでのカレッジでの学び、シンポジウムの話や実践力向上講座等で感じたことを思い出しながら具体的に考えていました。

その後、自分が教員を目指すにあたってすべきこと、しようと思うこととその優先順位、そう思う理由についてお互いに説明し合い、グループで共有しました。

3月の閉講式まで残り少なくなってきましたが、これまでのグループ活動で得たことや発見したことを見直し、さらに学びを深めていってほしいと思います。

